

本発表スライドは、国内未承認・適応外の情報を含みますが、適応外使用を推奨するものではありません。
各薬剤の「効能・効果」、「用法・用量」につきましては、最新の添付文書をご確認ください。

術前化学療法を行った患者の術後 (もしくは局所療法後) 標準的薬物療法アップデート 症例提示編

国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科 医長
下井 辰徳



The Japanese Breast Cancer Society
since 1992



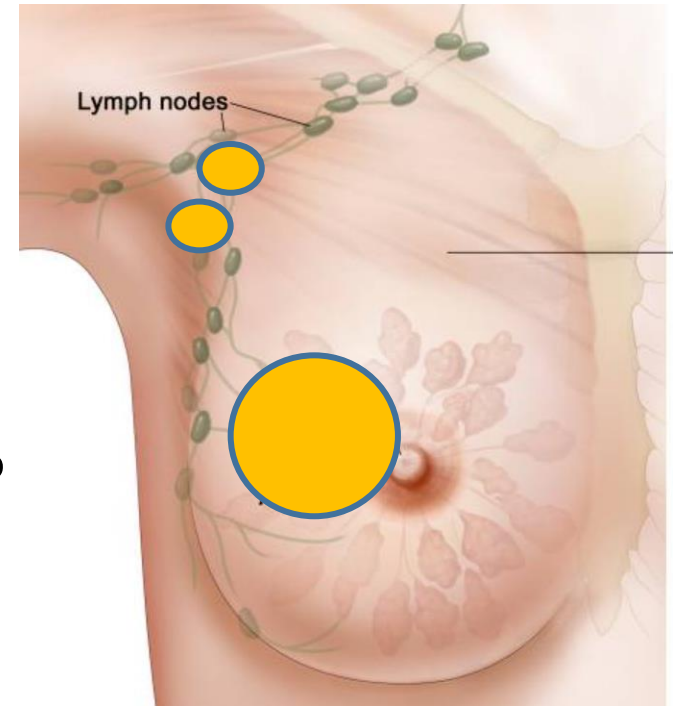
筆頭演者の利益相反状態の開示
すべての項目に該当なし

症例①-1 ルミナル乳癌

- 58歳女性、閉経後
- 腫瘍径56mm, リンパ節転移2個 cT3N1M0, StageIIIA
- 浸潤性乳管癌
- IHC: ER(90%), PgR(90%), HER2 IHC0, HGⅢ, NG3, Ki67=30%
- ECOG PS0

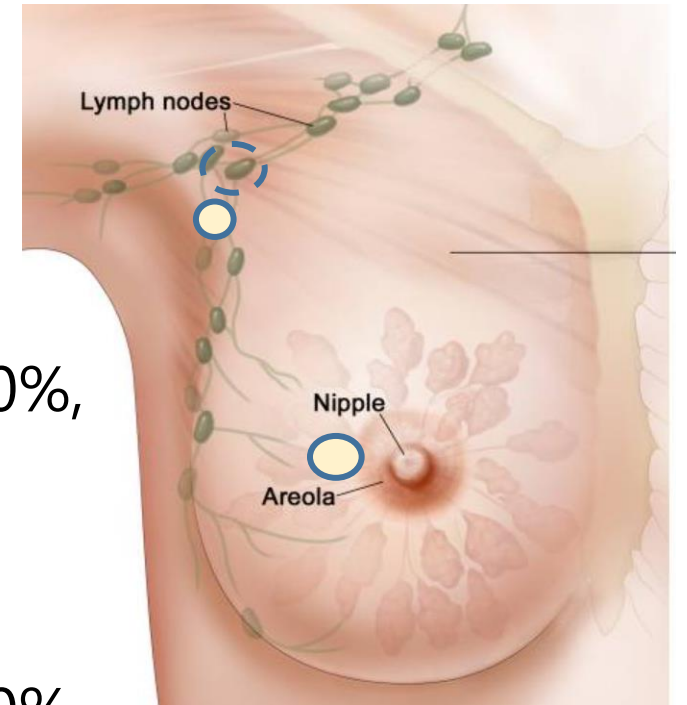
問題

- 本症例に対して、術前抗がん剤治療は推奨しますか？
- 推奨する場合の、術前抗がん剤治療の利点と欠点は？



症例①-2 ルミナル乳癌

- 58歳女性、閉経後
- 腫瘍径56mm, リンパ節転移2個 cT3N1M0, StageIIA
- 浸潤性乳管癌
- IHC: ER(90%), PgR(90%), HER2 IHC0, HGⅢ, NG3, Ki67=30%,
- ECOG PS0
- 術前抗がん剤治療としてddEC→ddPTXを実施
- cPRでBt + Axを実施：ypT1cN1(1/12) StageIIA
- IHC: ER(90%), PgR(90%), HER2 IHC0, HGⅢ, NG3, Ki67=20%
- 放射線治療、術後レトロゾール投与を予定している。



問題

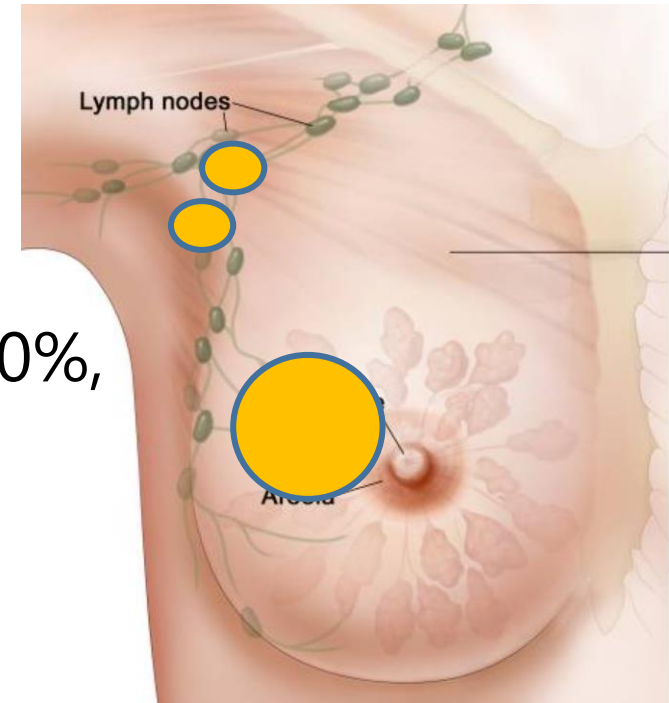
- 本症例に対して、上記に加えてほかの薬物療法の併用は推奨しますか？
- 推奨する場合の追加術後薬物療法の内容は？

症例②-1 HER2陽性乳癌

- 58歳女性、閉経後
- 腫瘍径56mm, リンパ節転移2個 cT3N1M0, StageIIA
- 浸潤性乳管癌
- IHC: ER(0%), PgR(0%), HER2 IHC3+, HGⅢ, NG3, Ki67=50%,
- ECOG PS0

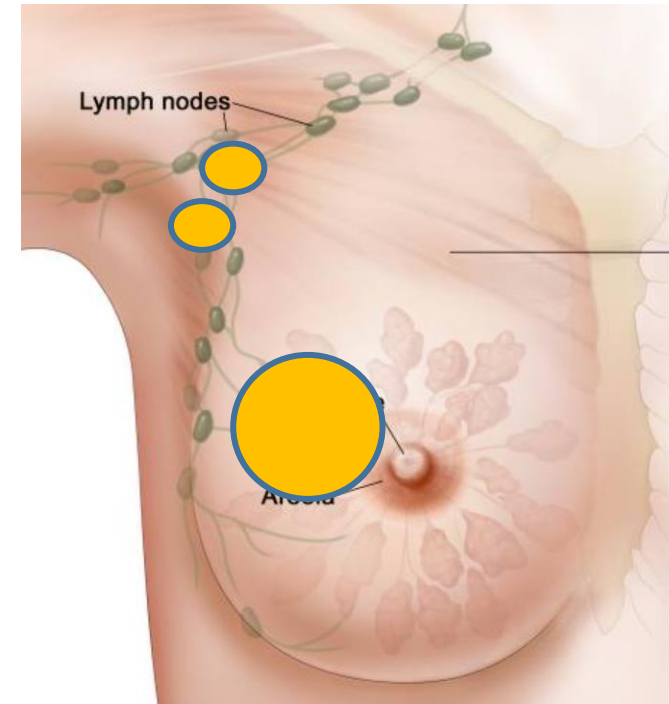
問題

- 本症例に対して、術前抗がん剤治療は推奨しますか？
- 推奨する場合の、術前抗がん剤治療のレジメンは？



症例②-2 HER2陽性乳癌

- 58歳女性、閉経後
- 腫瘍径56mm, リンパ節転移2個 cT3N1M0, StageIIA
- 浸潤性乳管癌
- IHC: ER(0%), PgR(0%), HER2 IHC3+, HGⅢ, NG3, Ki67=50%,
- ECOG PS0
- TCbHP（ドセタキセル、カルボプラチン、トラスツズマブ、ペリツズマブ）を実施した。
- cPRでBt+Axを実施： ypT1aN0(0/8) non-pCRであった。
- 放射線治療を予定している。

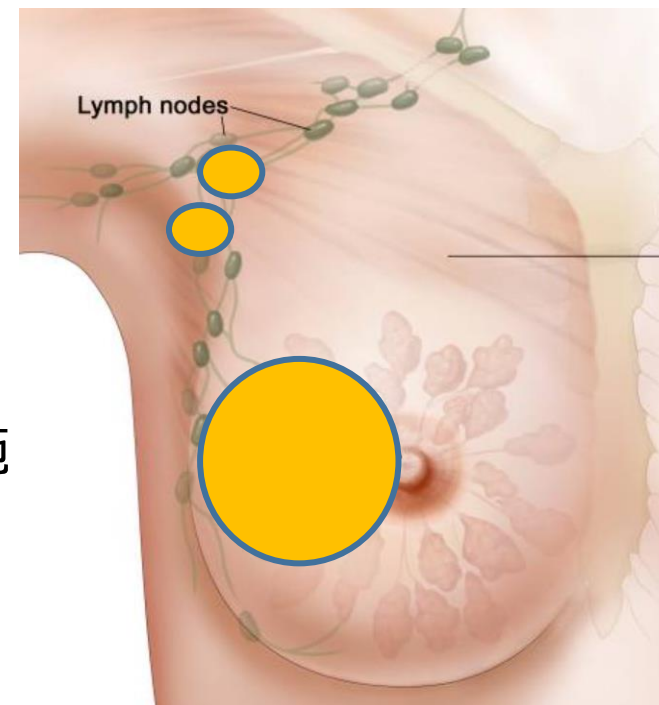


問題

- 本症例に対して、術後薬物療法は何を推奨しますか？
- もしpCRだった場合は、術後薬物療法は何を推奨しますか？

症例③ トリプルネガティブ乳癌

- 38歳女性、閉経前
- 腫瘍径56mm, リンパ節転移2個 cT3N1M0, StageIIIA
- 浸潤性乳管癌
- IHC: ER(0%), PgR(0%), HER2 IHC1+, HGⅢ, Ki67=50%,
- ECOG PS0, *gBRCA*陽性
- ペムブロリズマブ併用抗がん剤（Keynote-522レジメン）を実施
- cPRでBt + Axを実施： ypT1cN0(0/9) non-pCRであった。
- 放射線治療を予定している。



問題

- 本症例に対して、術後抗がん剤治療は推奨しますか？
- 推奨する場合の、術後抗がん剤治療のレジメンは？